

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

HPサイト <http://www.kenpoukaigi.gr.jp>

第304号

2011年8月10日

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

国会ないがしろの事実上の大連立、住民台帳人口発表 比例定数削減に踏み込む条件強化を警戒

民主党、自民党、公明党の3党幹事長は9日会談し、総選挙で民主党がマニフェストで掲げた子ども手当、高校授業料無償化、農家戸別所得補償、高速道路無料化などの主要政策・制度の見直しに合意、「確認書」を取り交わしました。国会をないがしろにした3党合意＝「大連立」が事実上発動することになります。震災復興財源についても協議することになっています。国民・被災者の民意を踏みにじるばかりか共同で悪政を推進する姿が浮き彫りになっています。悪政の延長上に懸案である国会議員定数削減があることは明らかです。

一方、民主党の仙谷由人代表代行（官房副長官）、古川元久元官房副長官、自民党の鴨下一郎政調会長代理、西村康稔氏は9日、両党議員による社会保障や医療政策の一致点をさぐる「勉強会」として「健康政策研究会」を結成しました。

総務省は9日、3月31日現在の住民基本台帳の人口を発表しました。その人口にもとづき、各報道機関が一票の格差の試算をしています。それによると衆院小選挙区では、最大の格差が高知3区と千葉4区の2.442倍（昨年から0.046ポイント拡大）、参院選挙区では、鳥取と神奈川の5.013倍（同0.038ポイント拡大）などとなっています。「朝日」は社説（10日付）でアメリカ合衆国上院（100議席）をめざせと呼びかけています。選挙制度の見直しとともに定数削減への圧力が強まることが予想されます。

世論への宣伝、民主党議員らへの働きかけで削減ストッフを

憲法会議は、こうした比例定数削減に踏み込む条件が次つぎと整えられてきていることに警戒しつつ、比例定数削減をさせないために、今こそ宣伝を強め、民主党議員への「残暑見舞い」作戦やファックスによる働きかけをおこなうことを呼びかけます。（民主党衆院議員の議員会館事務所部屋番号、ファックス番号一覧は憲法会議のホームページに収録しています）

【2011年憲法講座実施要項】

◇日時 2011年10月1日（土）午後1時～4時30分

◇会場 明治大学駿河台キャンパス1012号教室（リバティタワー1階）

◇講師とテーマ

講座① 清水修二 福島大学副学長「憲法の視点で震災・原発・復興を考える」

講座② 和田 進 神戸大学教授「日米安保と憲法・平和主義」

特別講座 日本共産党国会議員（要請中）「国会報告一憲法・比例定数削減をめぐる情勢」

◇資料代 1000円（学生500円）

◇申し込み 事前にFAX、メールなどで上記憲法会議へ。折り返し受講票を送ります。